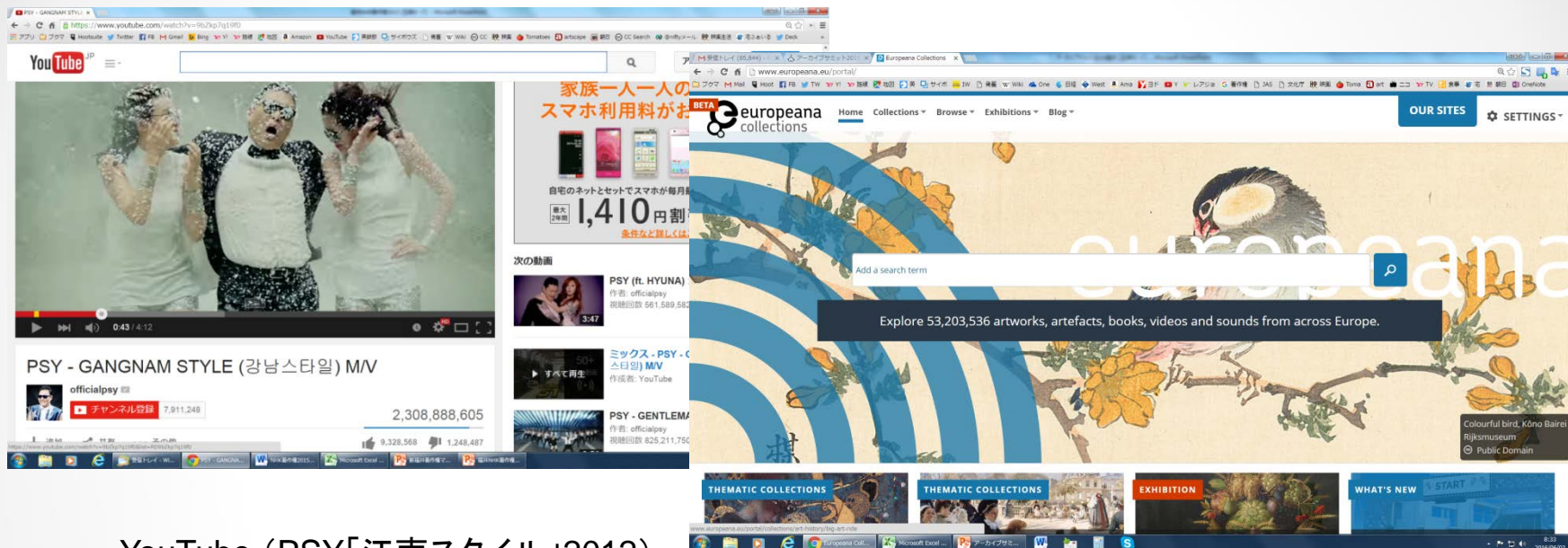


著しく短縮して語る  
著作権リフォームの潮流と  
アーカイブの課題  
福井健策\*

2016/6/3  
アーカイブサミット2016

\*弁護士(日本、NY州)  
日本大学芸術学部 客員教授  
@fukuikensaku

# 君臨するプラットフォームとEUの闘い



YouTube (PSY「江南スタイル」2012)

- ・圧倒的コンテンツ量、知の集積・序列化・流通の寡占？
- ・「データ保護規則」「リンク税」「競争法調査」「分割決議」・・・
- ・独自プラットフォームとしての巨大電子図書館ユーロピアーナ
- ・権利処理コスト低下のための著作権リフォーム案(2015/12)

# 作品アーカイブ化と権利 (超概略版)

	著作権 (映像・文芸・記事・ 漫画・作詞作曲・美 術・写真等)	著作隣接権 (演奏・演技・ダン スなど)	著作隣接権 (音源／レコ ード)	肖像権・プ ライバシー等
展示公開	△(公表権)	-	-	△
複製(電子化・ 録音・録画等)	○	△(映画などワン チャンスで消滅)	○	公表作品な らば×多し
上映・演奏	○	-	-	△
放送・有線放送	○	△(映画・レコード など〃)	-	△
ウェブ公開	○	△(映画など〃)	○	△
貸与(レンタル)	○	○	○	△

○：権利者に禁止権あり＝許諾必要、△：ケースによる

⇒権利処理コスト：1番組あたり30万円 (NHKオンデマンド)

⇒公開率1%未満 ※特にノンメンバー、孤児作品、疑似著作権

# 権利処理コストをどう下げるか

## 内閣知財本部・次世代知財システム報告書(2016/4)

### ①権利情報の集中管理

⇒「官民連携で推進」(報告書16頁～)

### ②拡大集中許諾

⇒「導入可能性を検討」(15頁～)

### ③利用裁定制度の更なる拡充

・「搜索の相当な努力」(14年緩和): ①名簿類又はネット検索、  
②管理事業者照会、③著作者団体照会、④CRIC広告、など

・事前供託により利用可能(最短1～2週で開始可)

⇒事前供託制度の見直し、民間委託による搜索コストの更なる低減など、「早期実施」(16頁)

# 権利処理コストをどう下げるか

## 内閣知財本部・次世代知財システム報告書(2016/4)

### ④柔軟な権利制限規定

(i)「(大量処理など)社会的要請」

(ii)「民間のライセンス期待できず」

(iii)「権利者不当に害さない」

⇒許諾不要とすべく、「早期の法改正」(10頁～)

※報酬請求権化との組み合わせも活用

### ①～④は相互補完的

⇒「グラデーションをもった取り組みが必要」(18頁～)

# 権利処理コストをどう下げるか

## 図書館アーカイブ規定(31条)の到達点

★絶版その他一般に入手困難な図書館資料は、国会図書館がデジタル化し全国の図書館等に配信可(31条2項・3項)

※「図書館等」: 公立・大学図書館、公立博物館・美術館など)

※現在142万点(1月集計)、全国692館参加

★全国の図書館等は絶版等資料をデジタル化でき、それを国会図書館が他の図書館等に配信可(2015/3文化審議会)

★図書館等に財団・社団設立博物館を追加(2015/7告示)

⇒全国図書館・博物館・美術館のネットワークアーカイブ可能  
方策⑤: 予算、認知度、博物館登録率の改善で活用へ

# 権利処理コストをどう下げるか

## その他の方策

⑥ マルチユース契約の普及・高度化

⑦ ガイドライン、オープンライセンスの活用



クリエイティブ・コモンズ・ライセンス

⑧ 「知は力」: スキルの強化

文学・芸術・メディア系学部での著作権講義必修化 など